



広域的・戦略的なインフラマネジメントの推進

第32回 国と地方のシステムWG

令和4年10月26日

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課



広域化・集約化に係る手引き

- ・広域化・集約化の推進に繋がるように、主体となる都道府県及び管内市町村に向けて、「**広域化・集約化に係る手引き**」を**2020年に策定**。（一般廃棄物処理施設）
- ・同手引きにおいて、広域化・集約化を進める上で参考となる情報（事例）を整理。

手引きの構成

1. 総論

1. 1 通知発出の背景
1. 2 本手引きの目的

2. 新規通知の概要

2. 1 広域化・集約化の現状と今後の方向性
2. 2 広域化・集約化の必要性
2. 3 広域化・集約化計画の策定

3. 広域化・集約化に向けた取組の流れ及び各主体の役割

3. 1 取組の流れ及び取組の主体
3. 2 広域化・集約化を進める上での各主体の役割

4. 広域化・集約化を進める上での広域化ブロック内での検討

4. 1 広域化・集約化の実現可能性の調査
4. 2 広域化・集約化に参画する市町村の決定

5. 広域化・集約化を進める上での関係市町村間での検討・調整事項等

5. 1 広域化・集約化の方式
（組織体制、整備するごみ処理施設、ごみ処理フロー等）
5. 2 施設建設候補地の選定
5. 3 費用分担
5. 4 ごみの分別区分・有料化
5. 5 ごみの収集運搬
5. 6 過渡期のごみ処理方法
5. 7 住民理解の促進

別添 広域化・集約化の事例集

廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き

・「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き」及び、「計画のひな形」を2021年3月に改訂し、個別施設計画について記載事項の周知を行い、内容充実を図った。

手引きの構成（焼却施設編）

I. 総論

1. 目的
2. 用語の定義
3. 廃棄物処理施設の現状
4. 廃棄物処理施設の維持管理上の特徴
5. 廃棄物処理施設の供用年数
6. 廃棄物処理施設のストックマネジメント
 - (1) スtockマネジメントの考え方
 - (2) 廃棄物処理施設の長寿命化総合計画
 - (3) 廃棄物処理施設における延命化計画
7. 長寿命化総合計画を進める上での基本的留意事項
 - (1) 機能保全のプロセス
 - (2) 効果的なストックマネジメント
 - (3) 地域単位の総合的な調整

II. 長寿命化総合計画作成の手引きと解説

1. 施設の概要と維持補修履歴の整理
 - (1) 施設の概要
 - (2) 維持補修履歴の整理
2. 施設保全計画の作成・運用
 - (1) 主要設備・機器リストの作成
 - (2) 各設備・機器の保全方式の選定
 - (3) 機能診断手法の検討
 - (4) 機器別管理基準の作成
 - (5) 施設保全計画の運用
 - (6) 健全度の評価、劣化の予測、整備スケジュールの検討
3. 延命化計画の策定
 - (1) 延命化の目標
 - (2) 延命化への対応
 - (3) 延命化の効果
 - (4) 延命化の効果のまとめ
 - (5) 延命化対策による二酸化炭素排出量削減効果
 - (6) 延命化計画のまとめ

引き続き、**広域化集約化の推進**及び、**戦略的なインフラマネジメント**について地方公共団体に対し促してまいりたい。